

夢の原点に戻り、あの時の情熱を思い出して、また明日から

玄 秀盛さんの「日本駆け込み寺」講義を聞いて

大田原キャンパス 助産学分野 小堀 悠

生き立ちが普通でない上に、「裏の社会」といわれる、いわゆる極悪非道な生き方をしてらした玄さんが今では、「たった一人のあなたを救う」という、人助けを・・・しかもNPO団体という非営利な団体で活動している。その変わりように驚きました。

人はなかなか変わらない・・・と、最近も、つくづく、自分もそうですが、周りの人の生き方を見てため息を漏らしていたばかりなのに・・・

玄さんの言葉の中で「何かをしてあげたいという情熱が大切」というフレーズが心に残っています。

私は34歳にして助産師への夢が諦められず、家族に迷惑をかけてまで、やっと現在の大学院で助産を学ぶことができています。

しかし、入学し、久しぶりの机上の学習と膨大なレポート、そして9月からの病院実習開始で気づけば、ため息と愚痴の日々を過ごしていました。

1年前、情熱の塊のようになって、大宮にまで試験のためのゼミに通い、寝ずに勉強し、主人を説得し、やっとつかんだこの環境に・・・甘んじてしまっていたことに今日気づかせてもらった気がします。

本日の講義を聞かせていただき

もう一度自分の夢の原点に戻り、あの時の情熱を思い出して、また明日からの病院実習に励んでいこうと思います。

とても刺激的な授業をありがとうございました。